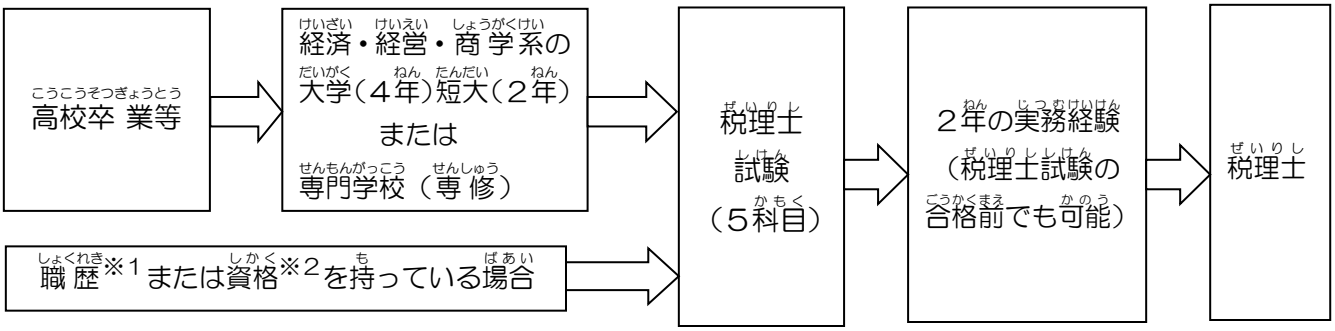
23 税理士

税理士は個人や企業の税金の計算などをし、相談にのったりする重要な仕事です。主に企業を相手とする公認会計士と比べ、税理士は身近な存在です。

税理士試験は、合計５科目に合格することで資格がとれますが、働きながら毎回１科目ずつでもチャレンジできるので社会人にも向いています。ただし、実際に税理士として登録するには２年以上の実務経験が必要です。

税理士になるには



※1　職歴は、下記①～③のいずれかを満たす場合に受験資格を有します。
①法人または事業を行う個人の会計に関する事務に３年以上従事した人。
②銀行、信託会社、保険会社等において、資金の貸付・運用に関する事務に３年以上従事した人。
③税理士・弁護士・公認会計士等の業務の補助事務に３年以上従事した人。

※2　資格は、「日商簿記検定１級合格者」または「全経簿記検定上級合格者」である場合に受験資格を有します。

＜早くから準備をしましょう＞

税理士試験は難しい試験の一つで数学や簿記の能力が必要です。早くから日本語や学校の勉強と母国語の上達に心がけましょう。

＜資格を取れば　どういうところに就職できるの＞

税理士になれば，税理士事務所（個人、企業の税金に関する書類の作成、相談、経理の代行をします。）や税理士法人に勤めることができます。また、自分で税理士事務所を開業することも可能です。
年収は平均約８００万円で、実力によってはそれ以上が可能です。

＜費用（学費）はどれくらい？＞

国公立大学で２４０万円以上（４年間）、私立大学では４００万円以上（４年間）かかります。